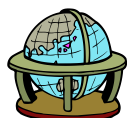


にじいろサポーター 第2号

2012. 10. 5発行



チャレンジキャンパスさっぽろが、設立されて1年半になろうとしています。1年生5人、2年生5人となり毎日賑やかに学習しています。今回の通信第2号では、半年が過ぎてしまいましたが感動の「研究発表会」のことと「夏のデイキャンプ焼き肉交流会」のことをお伝えしたいと思います。その中にもたくさんのドラマがありました。そのさわりだけでもお伝えできればと思います。



感動の研究発表会



チャレンジキャンパスさっぽろの設立時にこの研究発表会が年間の予定に入っていました。研究発表会は興味を持ったことについて調べ、学習したことを大勢の前で話すことで、コミュニケーションの力を育て、高校生時代にはあまりなかったアカデミックな体験をすることで利用者の1年間の成長を確認する場として計画されました。

正装した利用者達がそれぞれの発表の他に司会をしたり、オープニングセレモニーを担当したり、受付をしたりと大忙しでした。

小澤さん 司会をがんばりました。アイドルの嵐についてテレビ番組を中心にして発表しました。

石黒さん 接待の仕事をがんばりました。太陽系惑星について調べ発表しました。

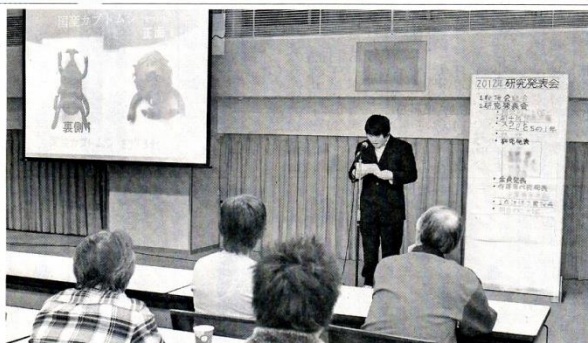
石原さん 大勢の前で話すことがががてでしたが、星座について発表することができました。

神野さん カブトムシについて発表しました。自分で作ったミニチュアを見せてくれました。

北海道新聞

2012年(平成24年)3月18日(日曜日)

北海道新聞に研究発表会の様子が記事として紹介されました。



カブトムシの生態について話す利用者の男性

自立訓練成果 1期生が披露

チャレンジさっぽろ開所1年

知的障害者が学びながら自立訓練する作業所「チャレンジキャンパスさっぽろ」に通う1期生5人による研究発表会が17日、札幌市白石区の札幌コンベンションセンターで開かれた。青年期の障害者が社会のことや芸術、スポーツをゆっくり学べる場をつくらうと、昨春開所した。2年制で、知的障害者の親たちが設立した一般社団法人「にじいろ福祉会」が運営している。発表内容は、札幌から見える星座や人気アイドルのテレビ番組などユニークなもので、5人が自分の興味のあることを図書やインターネットで調べた。太陽系について発表した石黒くん(19)は

みて、惑星の形や色がわかった」と笑顔を見せていた。

また、保護者も「娘は昨年のクリスマスに百科事典をほしがった。知りたい、伝えたい欲求が高まり、このキャンパスが大事だ」ということを実感しています」と、この1年間の子供の成長ぶりを話した。

単年度の定員は10人で、利用希望者を募集している。国の補助を受けており、実費のみ自己負担(月額1万円程度)。

問い合わせは同福祉会 ☎070・5049・2297へ。

(上田貴子)



学習会のお知らせ



12月15日（土）午後「かでの27」にて学習会を予定しています。内容は、全国の「新しい学びの場」の動向や取り組みをお伝えする予定です。

12月1, 2日（土）（日）「全国専攻科研究集会」が行われます。研究会では、エコールK O B Eの記念公演や和歌山のきのかわ福祉会をはじめ、三重・福岡・京都・滋賀・愛知・鳥取などの実践や家族会の報告、全国の青年たちの交流会などが行われます。そこで全国の取り組みを学んできます。

全国の動向を学習会のなかで学び、これからの「チャレンジキャンパスさっぽろ」や北海道の「新しい学びの場」の未来を語り合いましょう。

詳しい日程や内容が決まりましたら、後ほどお伝えします。



焼き肉交流会



8月31日（土）、前田森林公園でチャレンジキャンパスと後援会の「焼き肉交流会」が行われました。太陽が眩しいほどの晴天に恵まれ、参加人数31名で賑やかにスタートしました。チャレンジキャンパスの利用者さんに野菜の準備をしてもらい、後援会のお父さん達が火おこしや焼く係を受け、チームワークばっちり美味しくいただきました。

食事がひと段落したところで、ゲーム大会です。カードに書かれた問題にグループで答えを見つけるというもの。お隣のグループの方を巻き込んで盛り上がりました。

チャレンジの皆さんが畑で作ったジャガイモと、手作り品（素敵なコースター）の販売もあり、完売しました！最後に残った食材をかけた大ジャンケン大会。みんなが一つになって大笑いした1日でした。



今年度の予定

3月16日（土） 後援会総会 **研究発表会**を

札幌コンベンションセンターにて行います。

詳細については後ほどご案内します。